

## かの日が近づいている

アミール・ツアルファティ

- 私たちは今、預言年表のどこにいるのか -

<https://youtu.be/SKGGg6KxvOU>

さて、おそらく皆様のご想像通り、今朝のメッセージのタイトルは、「かの日が近づいている」(- The Day Approaching -)。そして理解すべきなのは、「イエスの来臨を待ち望む」という考えは、私たちが作り上げているのではない、ということ。これは、終わりの時を理解する際に、最も重要なことです。イエスは、弟子たちがこれを知っておくことを望んでおられました。そして…、このように言いましょう。「主が、私たちを取り去るために来られる」という約束なくしては、私たちの信仰は、すぐにつじつまが合わなくなります。それから、次のことを理解するのは重要です。世は、私たちに眠らせようとします。「これまでだ。これが最高の状態だ。何も期待するな。何も待たないで。何も探すな。これだ。これが最高の状態、神の御国だ」そして私は、聖書を通して、私たちが目を覚ましていることの重要性を見ることができると思います。私たちが持久力と忍耐を持っていることの重要性。私たちが耐え忍ぶことの重要性。そして、私たち全員が主の戻りに備えていることの重要性。ヘブル10章19節から25節。

:19こういうわけですから、兄弟たち。私たちは、イエスの血によって、大胆にまことの聖所にはいることができるのです。:20イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのために、この新しい生ける道を設けてくださったのです。:21また、私たちには、神の家をつかさどる、この偉大な祭司があります。:22そのようなわけで、私たちは、心に血の注ぎを受けて邪悪な良心をきよめられからだをきよい水で洗われたのですから、全き信仰をもって、真心から神に近づこうではありませんか。:23約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。:24また、互いに勧め合っ、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。:25ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。(ヘブル10章19節から25節)

明らかにヘブル人への手紙の筆者が、私たちに、将来に関する“ウィンドウ”を与えていることが分かります。そして、彼がそこの人々に与えているのは、基本的には、終わりの時代に私たちが生きるべき優先事項です。そして彼は、ここで約束について話しています。「私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか」そしてまた、「約束された方は真実な方」希望があり、約束がある。ヘブル人への手紙の筆者は、それを人々に理解させようとしています。待つに値するもの、あなたに希望を与える何かがある。あなたに命を与えるもの。あなたがたは、そのための準備を整える必要がある。問題は、彼はどの約束について話しているのか？なぜなら、この章と聖書のこの部分に関して、多くの誤解があるのです。彼はどの約束について話しているのか？それはイスラエルへの約束ですか？イスラエルに対する約束があることを私たちは知っています。最後に、土地と人々の物理的な回復。後ほど、それについて話します。それは、当時の異邦人への約束でしょうか？そしてもちろん、エペソ人への手紙2章にあるように、

:12そのころのあなたがたは、キリストから離れ、イスラエルの国から除外され、約束の契約については他国人であり、この世にあって望みもなく、神もない人たちでした。:13しかし、以前は遠く離れていたあなたがたも、今ではキリスト・イエスの中にあることにより、キリストの血によって近い者とされたのです。  
(エペソ2章12節から13節)

今日、この部屋まはらに何人の異邦人がいますか？なぜそんなに…(笑) 見てください。どれほどの異邦人が、暗闇から、彼の眩い光へと導き出されたか。皆さんの中で何人が…、皆さんが理解していることを願います。異邦人として、皆さんはユダヤ人になりたがる必要は、全くありません。私には理解ができません。異邦人

が信者になると、突然、何かが彼らの人生の中で欠けていると、ユダヤ人になりたがるのです。私たちには、これ以上必要ありません。ひとつ言わせてください。ユダヤ人は90%が一般人で、10%が祭司です。皆さんは昇進したのです。神の民ではない人から、神の民であるだけでなく、何になりましたか？祭司です。皆さんは、すでに祭司であるのに、普通の人に戻りたいですか？何のために？昇格した後、降格したいですか？どんな思考ですか？異邦人への約束は、あなたがたが家族となり、そして御国の相続人になります。1世紀の教会への約束は何ですか？ルカ24章49節は告げています。

**さあ、わたしは、私の父の約束してくださったものを、あなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。（ルカ24章49節）**

1世紀の教会への約束がありました。「では、ここにいなさい。わたしは約束する。それは、やって来ます。聖霊がやって来る」それは、約束でした。しかし、ヘブライ人へのこの手紙は、ユダヤ人に関するものではありません。異邦人のことでもない。そして、それは1世紀の教会にあった、聖霊の約束についてでもありません。それはまた、使徒の働き1章にも見られます。

**:4彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。:5ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」（使徒の働き1章4節から5節）**

しかし、我々は覚えておかなければなりません。たしかに彼は2000年前、異邦人に聖霊を約束されました。そして、たしかに彼は、終わりの時代のイスラエルの大いなる回復を約束されました。たしかに、彼は異邦人に約束されました。イエス・キリストの血を通して、かつては神の民ではなかった者たちが、今は肥沃な養分を相続する者となり、そして、彼らはまた、神を「アバ、父よ」と呼ぶことができる。彼らは息子、娘。そのすべては素晴らしいですが、我々は理解しなければなりません。彼は、もうすでに話し、彼はすでに、信者に手紙を書いています。しかし、それらは混合されました。だからこれは、私たちがいま見た、彼らの約束についてではなく、これは将来の約束についてです。ヘブル人への手紙10章36節から38節。私の大好きな箇所のひとつです。旧約聖書が、どれほど重要かということを示していますから。私はいつも言うのですが、パウロは新約聖書を一度も引用しなかった。イエスは、一度も新約聖書から説教されたことはありません。筆者が、ここに書いています。

**:36あなたがたが神のみこころを行って…**

つまり、イエスを主であり救い主として受け入れ、主の前で聖く生きることです。「:36あなたが神のみこころを行って…」つまり、起こり得る最も驚くべきものを受け入れること、

**:36約束のものを手に入れるために必要なのは忍耐です。（ヘブル10章36節）**

それから、もし、あなたが旧約聖書に精通していなければ、あなたには彼の言っていることが理解できないでしょう。なぜなら、彼は言います。

**:37もうしばらくすれば、来るべき方が来られる。おそくなることはない。（ヘブル10章37節）**

**:38 わたしの義人は信仰によって生きる。もし、恐れ退くなら、わたしのところは彼を喜ばない。  
（ヘブル10章38節）**

そして、これらは2人の預言者が書いた2つの異なる書の中の2つの聖句で、それを彼は引用しているのです。イザヤ26章20節。

さあ（来なさい）、わが民よ。（イザヤ26章20節）

彼は「わたしの民よ。そこにいなさい」とは言っていません。彼は「来なさい」と言っています。

あなたの部屋に入り…（イザヤ26章20節）

彼が私たちのために用意されたのです。

うしろの戸を閉じよ。憤りの過ぎるまで、ほんのしばらく、身を隠せ。（イザヤ26章20節）

いつまで？皆さんの言語の聖書では、「憤りの過ぎるまで」となっています。言わせてもらおうと、私は、英語の大ファンではありません。皆さんには、同じことを意味する言葉があまりにも多すぎます。そのため、多くの人が見失ってしまうのです。ヘブライ語の解釈を。ヘブル人のイザヤは、こう言いました。

“御怒り”が過ぎるまで、（イザヤ26章20節）

ヘブライ語の言葉は「ザハム」です。ヘブライ語の「ザハム」は「御怒り」です。これが興味深い理由は、ダニエル8章で、私が間違っていなければ19節、ダニエルは、あることについて語っているのです。お読みします。彼は、8章19節で伝えています。

そして言った。「見よ。私は、終わりの憤りの時に起こることを、あなたに知らせる。」

（ダニエル8章19節）

言い換えれば、全時間が「ザハム/御怒り」です。後半部分は、おそらく前半よりも悪くなるでしょう。しかし私たちは、「御怒りに会うように定められていない」と言われているなら、それは、「あなたがたは御怒りの“後半部分”に会うようには定められていない」とは、聖書は告げていません。聖書は、「あなたは、神の御怒りに会うようには、定められていない」と告げているのです。（第1テサロニケ5章9節）

神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく、主イエス・キリストにあって救いを得るようにお定めになったからです。（第1テサロニケ5章9節）

そして「神の御怒り」は、ヘブライ語で「ザハム」。これは皆さんが、ひとつの場所で「御怒り」と呼び、別の場所で「憤り」と呼ぶものです。はっきりしなさい！（笑）

神の御怒り。ハバクク書2章3節から4節。

:3この幻は、なお、定めの時のためである。それは終わりについて告げ、まやかしを言ってはいない。もし遅くなっても、それを待て。それは必ず来る。遅れることはない。:4見よ。心のまっすぐでない者は心高ぶる。しかし、正しい人はその信仰によって生きる。（ハバクク2章3節から4節）

ウォ。これは未来です。これは素晴らしい約束です。これは希望の約束であり、この約束が、私たちに命じているのです。「わたしが、あなたに“来なさい”と命じるまで待て。そしてわたしは、あなたをこの部屋に入れておく。…御怒りが終わるまで」

第2テモテ2章11節から13節

**:11次のことばは信頼すべきことばです。「もし私たちが、彼とともに死んだのなら、彼とともに生きるようになる。:12もし耐え忍んでいるなら、彼とともに治めるようになる。(第2テモテ2章11節から12節)**

分かりますか？これらは未来の約束です。この約束は、ユダヤ人、異邦人、明らかに1世紀の教会に限らず、それは、だれでも主の御名を呼び求め、イエスを、主であり救い主として受け入れた人、全員のもので、これは将来の約束です。私たち全員が「もし私たちが、彼とともに死んだのなら、彼とともに生きるようになる。…」(第2テモテ2章11節)もし生きていながら、私たちは耐え忍ばなければならない。なぜなら、もし耐え忍んでいるなら、彼とともに治めるようになる。(第2テモテ2章12節) すごいですね。

第2ペテロ3章9節。

**主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。(第2ペテロ3章9節)**

良いですね。ある人たちは遅れていると考えます。「フン。遅いですよ」私たちが？主に向かって「遅い！」と言う。それはちょうどピリポ・カイザリヤでのペテロのようです。イエスは言われました。「わたしは、あなたがたに言うておきます。あなたは、わたしが“生ける神の御子キリストである”と結論づけましたから、だから私は、あなたに今後起こることを話しましょう」

**その時から、イエス・キリストは、ご自分がエルサレムに行って、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、そして、三日目によみがえらなければならないことを弟子たちに示し始められた。(マタイ16章21節)**

ペテロは、その時、こんなぐらい頭でっかちだったのです。なぜなら、

**バルヨナ・シモン。あなたは幸いです。このことをあなたに明らかに示したのは人間ではなく、天にいますわたしの父です。(マタイ16章17節)**

キリストが神の御子であり、生けるメシアであるとの告白に関して。そしてペテロは今、彼に言えると考えたのです。受肉した神、彼がたった今「生ける神の御子である」と告白した方に対して。イエスが、ペテロに叱られました。「そんなことを言っちゃいけない！なんてことを言うのです！死ぬとか、葬られるとか、復活の救世主とか？救世主として必要なものを教えてあげましょう。私が思う、彼の戻って来るべき時を教えてあげましょう。将来的に物事がどうあるべきか教えてあげましょう。」それは人類の問題です。私たちには、私たちの思い、私たちの思い描く図があります。ところで、イスラエルの民は今日の今日でも、メシアの時代について彼らと話す時、または彼らに伝えれば、彼らは言うでしょう。メシアは馬に乗って来て、彼は敵を滅ぼすために来る。彼はエルサレムに来て統治する。彼はダビデの王座に座る。彼はすべての国を裁かれる。彼らは、主の再臨を説明しているのです。彼らは、千年王国の始まりを説明しています。なぜなら、彼らの理解では、それが彼らのメシア時代ですから。「ロバに乗る？」「みんなの前で泣く？」「十字架にかかる？市内のすべての泥棒や犯罪者のように？」「そして、葬られて、隣に警備を置く？」「なんて恥ずかしい！」エマオに向かって歩いていた二人の弟子は、非常に恥ずかしい弟子でした。彼らは悲しんでいました。彼らは、主がいなくなったと告白したのに。彼はもう墓にはいない、と。

**主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。(第2ペテロ3章9節)**

これは、カルヴァン主義の「限定的贖罪」など、そういった考えが間違っていることを明らかにしています。「神は、初めから人々の運命を定めておられる」と言うことはできません。「あなたは地獄へ行き、あなたは天国へ行く。わたしがそれを望むのだ」なんて。

**(神は) ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。**

**(第2ペテロ3章9節)**

そして、ヘブル人への手紙の筆者は、次のように言っています。聞いてください。

**動揺しないで、しっかりと希望を告白しよう… (ヘブル10章23節)**

なぜなら、私は言いたい。

**約束された方は真実な方ですから… (ヘブル10章23節)**

約束した方には記録、実績があります。ヨシュア記23章4節。

**:4見よ。わたしは、ヨルダン川から日の入るほうの大海まで、これらの残っている国々と、すでにわたしが断ち滅ぼしたすべての国々を、相続地として、くじによってあなたがたの部族に分け与えた。:5あなたがたの神、主ご自身が、あなたがたの前から彼らを追いやり、あなたがたの目の前から追い払う。あなたがたは、あなたがたの神、主があなたがたに告げたように、彼らの地を占領しなければならない。**

**(ヨシュア23章4節から5節)**

私はいつも人々に伝えます。イスラエルの土地は、もともとイスラエルのもではありませんでした。あなたの言う通りだ。でも、私に何が言えますか？神が、私たちにこれを約束されたのです。そして、私に何が言えますか？主が、私たちのために戦われたのです。主が、私たちを導き入れ、主が、他のすべての者を取り去ったのです。そして主が、私たちに2,000年後に戻って来ることを許したのです。もしこれが問題なら、主と話してください。どうして私が、あなたに説明しなければならないのですか？

第1列王記8章56節は告げています。

**約束どおり、ご自分の民イスラエルに安住の地をお与えになった主はほむべきかな。しもベモーセを通して告げられた良い約束はみな、一つもたがわなかった。(第1列王記8章56節)**

ここに素晴らしい実績があります。神は約束を果たそうとされている。これが、主のご性質です。

第2コリント人への手紙1章19節から20節。

**:19私たち、すなわち、私とシルワノとテモテとが、あなたがたに宣べ伝えた神の子キリスト・イエスは、「しかり」と同時に「否」であるような方ではありません。この方には「しかり」だけがあるのです。:20神の約束はことごとく、この方において「しかり」となりました。それで私たちは、この方によって「アーメン」と言い、神に栄光を帰するのです。(第2コリント1章19節から20節)**

神との、これは握手です。それだけです。「しかり」があり、「否」があって、そして約束があり、それは決定しています。約束された方は真実な方です。私たちは、自分の約束を守りません。私たちは、次々と約束を破ります。主は、約束を破ることができません。彼には、ご自身を否むことができませんから。

ヘブル人の手紙13章8節。

**イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつまでも、同じです。（ヘブル13章8節）**

主は変わることはありません。彼は、変わりません。彼は、変わってはならない。これが主であって、私たちに約束された方は真実です。

マラキ書3章6節。イタリア人なら、“マラチ”。ブロークン英語を話す人は、“マラカイ”。ヘブライ語で言えば、“マラヒ”。彼が、3章6節で述べています。

**主であるわたしは変わることがない。ヤコブの子らよ。あなたがたは、滅ぼし尽くされない。  
（マラキ3章6節）**

神は、イスラエルの民の贖いを約束されました。神は、国家としてイスラエルに救いを約束されました。神は約束されました。この国は、“フラッグシップ”のようになる。この国によって、全世界が祝福される、と。したがって、主が約束されたので、ヤコブの子らよ。彼が、昨日も今日も、永遠に同じであられ、変わることがないがゆえに、したがって、あなたは滅ぼし尽くされない。私は、神が時を定めておられる、という事実が大好きです。キリストが、私たちを連れ去るために来られること、キリストが、二度目にこの世に戻って来られる再臨に関して、私たちが、神に感じている問題、そのすべては、時を定める神の主権を、私たちが理解していないからです。私たちが、主に時を指示します。しかし申し訳ありませんが、神が、時を定めておられます。彼が定められたのです。私がお好きなのは、使徒の働き17章25節。パウロが、アテネの街のど真ん中で言っています。英語では26節です。彼は言っています。

**神は、ひとりの人からすべての国の人々を作り出して、地の全面に住まわせ、それぞれに決められた時代と、その住まいの境界とをお定めになりました。（使徒17章26節）**

神が定めておられるのです。神が、時代を決められたのです。ハバクク2章3節を覚えていますか？主は言われます。

**この幻は、なお、定めの時のためである。（ハバクク2章3節）**

定められた時があります。神がそうされます。ガラテヤ人への手紙4章1節から5節。

:1ところが、相続人というものは、全財産の持ち主なのに、子どものうちは、奴隷と少しも変わらず、:2父の定めた日までは、後見人や管理者の下にあります。:3私たちもそれと同じで、まだ小さかった時には、この世の幼稚な教えの下に奴隷となっていました。:4しかし定めの時が来たので、神はご自分の御子を遣わし、この方を、女から生まれた者、また律法の下にある者となさいました。:5これは律法の下にある者を贖い出すため、その結果、私たちが子としての身分を受けようになるためです。（ガラテヤ4章1節から5節）

定めの時があり、定めの時が来ました。神が決定した時間と季節があり、主の子どもである私たちは、忍耐して待つ必要があるのです。それまでは、主が、私たちをととても愛しておられるから、彼は、私たちにしるしをくださいました。それらは、明日には起こりません。しかし、…いやいや、私は、今はその話はしていませんよ？（笑）それは、5分後にも起こり得ます。でも、待って、まだメッセージのまっただ中ですから。（笑）主は、私たちに、しるしをくださいました。イスラエルのためのしるし。マタイ24章で、主が、オリブ山の上で人々に話された時、3節から31節までは、主は、苦難や患難、イスラエル国を備えるために訪れることについて話されました。私たちの目の前で起こっている、世界中の驚くべき出来事、すべてについて話され、イスラエルに言われたのです。「ところで、国として、残念ながら、あなたがたは大患難を通る」しかし、その後、教会のためのしるしがありました。主は、人々に、イスラエルを見るように指示されました。いちじくの木を見なさい、と。イスラエルは生き返り、故国に戻って繁栄する。それは、教会が準備をするための大きな兆候です。

第2テサロニケ人への手紙2章1節から12節。私たちは、今日それについて話しました。2章1節から12節。反キリストが登場する前に、背教が起こるという事実について告げています。第2テモテ3章1節から9節は、困難な時代について語っています。偽の、危険な人々が、私たちの周辺から現れると言い、それは、いたる所に存在します。もしそれで足りなければ、私たちは素晴らしい世代で、エゼキエルの時を生きているのです。旧約聖書の預言者が、今日のニュースを私たちに与えてくれたのは、興味深いことではないでしょうか。つまり、今日の私たちの新聞よりも、エゼキエル36, 37, 38, 39章の方が正確なのです。彼がイスラエルの地の回復について語った36章を考えると、

**だが、おまえたち、イスラエルの山々よ。おまえたちは枝を出し、わたしの民イスラエルのために実を結ぶ。彼らが帰って来るのが近いからだ。（エゼキエル36章8節）**

イスラエルは、死んだ不毛の荒地でした。マーク・トウェインは、1800年に訪れて、そのすべてを証しています。彼は人々に言っています。そこでは何も育たず、だれもそこに住んでいない。

そしてエゼキエル37章では、イスラエルの民のヨーロッパの墓場からの回復について語っています。

**:12見よ。わたしはあなたがたの墓を開き、あなたがたをその墓から引き上げて、イスラエルの地に連れて行く。:13わたしの民よ。わたしがあなたがたの墓を開き、あなたがたを墓から引き上げるとき、あなたがたは、わたしが主であることを知ろう。:14…このとき、あなたがたは、主であるわたしがこれを語り、これを成し遂げたことを知ろう。――主の御告げ。――（エゼキエル37章12節から14節）**

約束された方は真実な方ですから。ですから、私たちはすでに、主が私たちにくださったしるしによって、神の真実を実感しています。私たちは、その日その時を知りません。私たちには、何分かは分かりません。しかし主は、その恵みによって、私たちに非常に多くのことが起こるのを見せてくださいました。エゼキエル37章が、ユダヤ人の故国への帰還について語っています。はるか彼方から。ホロコーストからユダヤ人を救うのと、イスラエルに戻るように、彼らを説得するのは別物です。皆さんは、ご存じないかもしれませんが。そして私は…、ここでだれかの気分を害さないことを願いますが、でも、害するでしょう。いや、害しません。しかし、終わりに…、いや、こうしましょう。1930年代、米国の大恐慌の直後、皆さんは覚えているでしょうか。FDR（フランクリン・デラノ・ルーズベルト大統領）は、新しい取引をまとめました。“新しいグリーン契約”ではなく、“ニューディール”です。ニューディールの一部…、ところで、彼は超社会主義でした。しかし、ニューディールの一部は、すべての少数民族の同盟でした。そして、アメリカのユダヤ人たちは初めて、彼らには拠点、家、保護があることを感じたのです。政治的保護、彼らは実際に何かの一員になることができるのです。だれかが何かをするための手先ではなく、彼らは、国の政府の一員になれる。理解しなくてはなりません。ほぼ2000年間、ユダヤ人は自分の土地を保有することすら認められなかったのです。そのために、彼らは弁護士として、ミュージシャンや教授として、非常に優秀だったのです。こういったものは、土地や財産として所有するものではありませんから。そして突然、イスラエルに行く代わりに、彼らはアメリカに行きました。イスラエルには6万人のユダヤ人、アメリカには300万人のユダヤ人です。イスラエルのことを説得するのは簡単ではありませんでした…ところで、今日、アメリカではユダヤ人が500万人、イスラエルのユダヤ人は700万人です。アメリカのユダヤ人は、もはや大衆ではありません。彼らは牛耳ることはできません。彼らは、何も無いあの小さな国で、もう何も指示できません。だからこそ、今日の民主党におけるこの驚くべき変化が見られるのです。今日の民主党は、彼らが起こっていることを理解しているかどうか、私には分かりませんが、しかし、彼らも計算ができます。ユダヤ人の数は、アメリカで縮小していて、イスラム教徒の数は、アメリカで増加しています。私たちは、大いなる交換と呼ぶものを作る必要があります。ところで、それはイギリスで起こりました。労働党がそれをしました。今、そこは最も反イスラエル主義、反ユダヤ主義の政党です。これは英国における、ユダヤ人の拠点でした。コービンが、言うておきますが、激しい反ユダヤ主義者です。今日、我々がアメリカ合衆国の民主党で見ているものは、まさに英国で起こったことです。人口構成の変化を理解すれば、大いなる交換が起こっているのです。そして今



日、民主党の指導者たちは競っています。だれがもっと反イスラエル主義になるか、だれがより反ユダヤ主義になるか、そして、世界中のテロリストをより支持するか。しかし神は・・・あなたは望む限り、好きなだけ政治を行うことができます。しかし、神は、最終的には、彼がユダヤ人を彼らの土地に戻すと約束されたのです。そして主は、そうされました。私たちは、つい数日前にイスラエル誕生の71周年記念を祝ったばかりです。(拍手)

もし、それで十分でなければ、エゼキエルは続けて言います。イスラエルの繁栄は明らかになり、それが、ロシアの顎<sup>あご</sup>にかけられる鉤<sup>かぎ</sup>となる。ロシアです。なぜ、今日、我々の国境にロシアがいるのでしょうか？彼らがシリア人のことをかわいそうに思っているからではありません。言うておきますが。パレスチナ問題のためでないことは、確実です。絶対にイランや、トルコ、または何か他のもののためではありません。目的は石油、主にイスラエルが見つけた天然ガスです。過去10年間のイスラエルは、完全に迫害されていた国、周辺の敵によって簡単に占領され得る国から、地球上で第8位の、最も強力な国家となりました。アメリカ、中国、ロシアに次いで月に着陸した第4の国です。地図上の小さな点であるイスラエル、その牛は、最も生産的です。イギリス諸島の人々には申し訳ありませんが。私たちの牛は文句は言うが、生産します。(笑)

そして主は、私たちが現在の中東で起こっていることを理解できるように導いてくださり、これは主が戻って来られることの驚くべき兆候です。先ほども言ったように、イスラエルは土地に戻っています。イスラエルは繁栄し、イスラエルは非常に多くの方面で先端を行っています。イスラエルは現在、ホワイトハウスに次いで2番目に、米国に次いでエルサレムにある首相事務所は、世界の指導者たちが、最も多く訪れる事務所です。考えられません。ロシア大統領と米国大統領の両方と、素晴らしい関係を持っている唯一の指導者は、ベンジャミン・ネタニヤフです。彼らは両方とも、その意味を理解できませんが、しかし、言っています。プーチン大統領は、彼が、我々に敵対する日が来ます。私の聖書がそう言っているのも、間違いありません。しかし現時点では、彼の利益にかなうのは、実際に、私たちの味方になることです。今の時点では、軍隊は準備が整いました。彼は、ところで、核弾頭を搭載できる弾道ミサイルを、すでにシリアに持ち込みました。彼らは飛行機を入手、彼は、S-300 (ロシアの長距離地对空ミサイルシステム) とS-400 (S-300の発展型) を手に入れて、彼はS-500 (新型) に取り組んでいます。我々が、彼らのレーダーをすべて操作しますから。彼は、すべてを現場に持ち込んでいます。実際、我々が、ゴラン高原の国境沿いの平和を望むなら、我々は、ロシア語を話すのです。アラブ語は話しません。皆さん、イスラエルはいま、もはやだれも無視できない国です。なんとサウジでさえ、それを知っています。ほんの数週間前のこと。だれも注意を払っていませんが、しかし、イスラエルの兵士の亡骸<sup>なきがら</sup>が、27年後に、プーチン大統領によって、イスラエルに返されました。それが面白いことに、イスラエルの首相が、数ヶ月前にクレムリンにいて、すべては言いませんが、イスラエルは、ロシアでの主要なテロ攻撃を防ぐのを助けたのです。ロシアの9/11が、イスラエルの諜報機関のおかげで防止されました。そこで、イスラエルの首相がクレムリンへ招待されたとき、彼は英雄として歓迎され、クレムリンで、そこに座っている彼にロシアの大統領が尋ねました。「私に何ができますか？何でも言ってください」驚きませんか？彼らは、私たちがシリアで一日おきに攻撃することを認めていて、彼らは何もしないのですよ？彼は、イスラエルはすべき事をしなければならいと理解しているからです。そこで、イスラエルの首相は言いました。「大統領さん、お願いしたいことがあります。私たちの諜報部隊が、位置を確認しています。私たちは、我々の亡き兵士の遺体のある場所を正確に知っています。正確な座標を伝えることができます。彼が、どこに埋葬されているか分かっています。正確に、どこの墓地、どの家の隣で、どこの避難キャンプであるか知っています。ダマスカスの郊外にある、ヤルムーク難民キャンプです。私たちは、そこに入れません。あなたがたは、そこにいます。私たちのために、そこに行って、彼らの亡骸<sup>なきがら</sup>を取り、私たちのところに持って帰ってくださいますか？」ロシアの大統領は、首相を見て言いました。「27年前？どうしてそれほど大事なのですか？」首相は言いました。「私たちは、国全体が一つの大きな軍隊です。だれもがそこで仕えます。指揮官が、兵士と家族に与える約束がひとつあって、それは、『我々は、あなたがたを連れ戻す』『生死に関わらず、我々はあなたがたを連れ戻す』ですから、これは私とその家族に与えた約束です。もし、私を助けてくださるなら、本当に感謝します」プーチン大統領は、とても衝撃を受けて、言いました。「そのようなものは見たことがない。いいかい、ビビ？これは私に任せな



さい。あなたは、まだなんでもあなたが望むことを言いなさい。しかし、これは私が責任を持とう」数ヶ月が経って、ロシアは彼らの遺骨の回収を3回試みしました。テロリストは、彼らにそれを許さず、最終的に、ロシアの兵士たちは、それらの遺体を持って来る試みの最中に負傷したのです。そうして、彼は彼らを、はるかイスラエルに連れ戻しました。これが私たちであり、また私たちは、世界中でこのように尊敬されているのです。イスラエルの首相が自由社会に行き、全世界の意見に反して、そこの指導者に言うのです。「イランの契約は大きな恥であり、大きなスキャンダルだ」なんと、彼は全世界よりも、自分の言葉を重んじます。

シリアでは、どうでしょう？シリアは、ただのハンガーです。その上に、だれもがコートをぶら下げている。よく考えれば、そこにいる者は、だれもシリアのことを思っていない。イランは、シリアについて気にしない。彼らは、自分のシーア派の軍隊を持って来たいのです。自分たちが、前線でイスラエルと戦うために。トルコはクルド人を追い出したいのです。自分たちが入れるように。ロシアは、石油とガスを狙っています。だから、彼らは入って来た。シリアのことは、だれも気にしていません。シリアは、もうありません。しかしシリア内戦は、皆が侵略し、エゼキエル38章のシナリオを成就させるための道だったのです。

イラン。なぜ、彼らは静かに自分のところにとどまって、自分たちのことに対処できないのですか？私たちは、彼らから何も望みません。あなた方の人生を生きてください。「いや！おまえたちは、我々の雲を盗んだ！だから、我々のところに雨が降らないのだ！」イランは、トランプ政権が課した新しい制裁以来、この3日間に、彼らの通貨価値の10%を失いました。イランは現在、あの地域のアメリカ軍を攻撃する準備ができています。イラン国内と、その周辺、イラクやイエメン、サウジアラビア、カタール、オマーンに、30以上の異なるターゲット（攻撃目標）があります。そして、イランは今、彼らの代理のすべてに、何かを行うよう、“Goサイン”を出しているのです。なぜなら、彼らはこのトランプ政権に激しく痛めつけられていますから。そして面白いのは、一発として発砲することなく、彼らが痛めつけられていることです。ツイッターの方が強い。（笑）

トルコで起こっていることを見てください。独裁者が生まれ、彼は自分がスルタン（イスラム教国の君主。オスマン帝国の皇帝）だと思っている。彼はオスマン帝国を復活させたい。彼の通貨は急落していて、彼は、自分がイスタンブールの選挙で敗北したという事実を、受け入れることさえできません。彼は、昨日の時点で、新しい選挙を呼びかけています。「なぜって、私が負けたから。つまり、それは合法ではないという意味だ」

ロシアで起こっていることを見てください。ロシアは、去るつもりでそこにいるのではありません。ロシアは留まるつもりです。彼らは継続して、より多くの機器、より多くの航空機、より多くの空母、より多くのものを持ち込んでいます。彼らは、どこにも行きません。現時点では、我々はそれに満足しています。法律と秩序を守るために、我々はだれと話しますか？イラン？話をすることも、シリア人はいません。我々は、だれと話しますか？少なくともロシアが、私たちが話すことのできる相手です。だから現時点では、私たちは、実際、それが気に入っています。

スーダンで起こっていることを見てください。スーダンは大統領を失いました。彼らは政府を打倒し、今は、軍が引き継いだことが分かっています。

リビアで起こっていることを見てください。将軍ハフタルは、欧州連合（EU）があちらで課した自称政府と戦っていて、私たちは、トリポリをめぐる衝突を見えています。

そのすべてが、ヨーロッパに影響を与えるのを私たちは見えています。そこは今、移民が殺到しています。あなたが最後にフランスの通りにいたのは、いつですか？シャンゼリゼは、大きな移民キャンプです。わたしを信じないなら、今すぐそこに行って、自分で見てください。

ドイツで起こっていることを見てください。フランスとドイツは、西ヨーロッパの心臓部で、私は、反キリストは、そこから登場すると信じています。

欧州連合（EU）は、出血しています。彼らは欧州連合（EU）の再編を考えています。何か、軍隊、武器、独自の経済を持つものを創造し、もはや30、40カ国ではなく、わずか10カ国だけ。我々に必要なのは、それだけだ、と。まさに、預言者ダニエルが言ったように。

アメリカは、このような時代のために、この大統領が置かれ、私たちは驚かされっぱなしです。私たちのだれもが、毎日。（拍手）毎日です。イラン協議の撤退という、大胆な決定から始まって、制裁を再度課し、続いてエルサレムへの大使館移転、（拍手）イスラエルの領土として、ゴラン高原を認識するところまで行きました。（拍手）皆さんは理解できないかもしれませんが、彼がそれをしたときに、彼は基本的に“パレスチナ国家”という考えに“死のキス”をしたのです。なぜか？20年、30年、40年、50年間、彼らは我々に売ってきたのです。「平和と引き替えに土地。平和のために土地。お前たちが土地を返さなければ、我々はそれを認識しない。我々は、お前たちに応じることはできない」突然、大統領が登場して言います。「なあ、あなたがたは、そこに何年いるのだ？30年以上？それは、あなたがたのものだ。平和のための土地は、もうない。それが土地だ。そして、もし、あなたがたが平和を望むなら平和も持とうじゃないか！」そして突然、パレスチナ人は「ああ…。つまりあなたは、それを認識するために、イスラエル人が領土から撤退する必要はない、と言うのですか？」「その通り。彼らは撤退しない」よく考えてみてください。今からほんの約25日後、ラマダンの終わりに提示されようとしている「世紀の取引」の全体は、いかなる居住区からも、イスラエル人の撤退は、一切含まれません。その考えは、交渉から除かれています。

これで足りないなら、国連（UN）。私たちは素晴らしいメッセージを聞きました。私たちは、これをユナイテッド・ナッシング（全く一致しない）と呼びます。我々はまた、「UN」は「unnecessary（不要）」の略だと言います。しかし、彼らは今日、何をしていますか？彼らは、本当に貧しい人々や恵まれない人々の世話をしていますか？今日、彼らは2つのことをしています。彼らは、どこにでもLGBTのアジェンダ（行動計画）を推し進め、そして彼らは、気候変動のアジェンダを推し進めます。それだけです。今日、彼らがしているのは、それだけです。「あなたが我々に同意しないなら、我々はあなたを助けない」以上。これが、彼らが皆に尋ねる2つのことです。すべての国に、「私たちの助けがほしいなら、LGBTのアジェンダの宣伝方法を我々に見せなさい。そして気候変動のために、あなたがたは何をするのか、我々に見せなさい」それだけです。

そして、あなたは何を…（ハクション）、ワオ、それは…（笑）、あなたの心の底から出ましたね？（笑）

そしてもちろん、教会。私たちは、多くの背教を見えています。「キングダム・ナウ神学」「新使徒改革」非常に悪魔的です。彼らは今、これが神の御国であると言います。これが神の御国なら、私は失望します。エキュメニズム、グローバリズム、普遍主義。私の友人は牧師で、その、とても親しい友人が、ある日、唐突に彼は言ったのです。「アミール、話したいことがある。私は、すべての人が救われていると信じている。そして、君には携拳について教えるのをやめてほしいんだ。携拳なんてものはないのだから」ちょっと待って！！そして、彼は言いました。「君に言いたいことがある。やっとな、肩の重荷が降りたんだ。突然、私はとても楽になったんだ」そして、最後に彼が私に言ったのは…、彼は言いました。「君の教えは、人々を恐れさせる。それを教えるのをやめろ。それは、人々が自分の救いに疑問を抱く原因となる」彼は、イスラエルや聖書預言にものすごい情熱を注いでいた牧師です。私は信じられませんでした。敵は巧みに入り込み、彼は、完全に盲目にされていました。だから私は、彼に尋ねたのです。「先生、もしISISがあなたの家に入って、あなたの妻を殺し、あなたの子どもたちを殺し、あなたの喉を切り裂いたら？ISISは、彼らは天国に行くのですか？」「はい」私は彼の妻を見ました。「彼らは、たった今、あなたを殺し、そして彼らは天国に行く？」彼女はこんなふうに（うつむいて）…。驚きです。そして、私は彼に言ったのです。「私は、どこでも説教をするし、私は、あなたの言うことすべてに反して説教します。しかし、あなたは何も説教をす

る必要はない。だから、お願いします。説教しないでください。みんな救われたと思っているのだから。家にいなさい！みんな救われている。」

いたる所で、つい先ほど、第2テサロニケ2章が告げていることを聞きました。我々は今、背教と反キリストの台頭との中間地点にあります。「背教と反キリストの興りの間」私たちは、不法の秘密がすでに働くのを見ています。私たちは、世界中で不法に関するプレゼンテーションを見てきました。私たちには、何が起きているのかわかります。この世が、どれくらい暗いか。しかし、我々はまた、知っています。皆さん、私たちには大きな約束があることを。その約束とは、反キリストが興る（出現する）ためには、引き止める者が取り除かれなければならない。それは実に、まもなく取り除かれます。そして私たちは、いちじくの木が芽吹くのを見ている世代です。私たちは滅びない世代です。そして私は、これを追加します。私たちは、すべての兆候を見ることが出来る世代です。私たちには見えるのです。それを祈る必要はなく、それを願う必要もなく、探す必要もない。私たちは、かの日が近づいているのが見えるのです。私たちは、過去の他の約束に頼って何かを期待する必要がない、唯一の世代です。私たちは、かの日が近づいているのを見ています。いちじくの木が芽吹くのを見ています。兆候が成就されるのを見ています。私たちはそれらのすべてを見ています。私たちは、それを望む必要はありません。私たちは甘やかされて育った世代です。2000年前、すべての世代は、ものすごい持久力と忍耐力をもってそれを祈り、それを期待して、それを待ち望まなければならなかったのです。私たちは甘やかされて育った世代です。私たちは、テレビをつければ、そこにイスラエルの国旗があり、イスラエルの首相がいて、イスラエルは、すでに故国に戻りました。私たちの祖父母は…、もし彼らに80年前、90年前、「イスラエルに引っ越したらどう？」なんて言ったら、彼らには、まるであなたが火星に居住区を設けると言っているように聞こえたでしょう。ところが、今日の私たちは…。私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。（ヘブル10章23節）

**動揺しないで、しっかりと希望を告白しよう…（ヘブル10章23節）**

なぜ？希望を失うな！第1テサロニケ4章13節から14節。

**:13**眠った人々のことについては、兄弟たち、あなたがたに知らないでいてもらいたくありません。あなたがたが他の望みのない人々のように悲しみに沈むことのないためです。（第1テサロニケ4章13節）

希望のない人たちのようになるな！心配するな！怖がらないで！私たちの前には、最も偉大なものが待ち受けているのだ。

**:14**私たちはイエスが死んで復活されたことを信じています。それならば、神はまたそのように、イエスにあって眠った人々をイエスといっしょに連れて来られるはずですよ。（第1テサロニケ4章14節）

と、彼は言いました。そして、この最後の聖句で締めくくります。私たちの希望は何ですか？第1テサロニケ2章。

**:19**私たちの主イエスが再び来られるとき、御前で私たちの望み、喜び、誇りの冠となるのはだれでしょう。あなたがたではありませんか。**:20**あなたがたこそ私たちの誉れであり、また喜びなのです。（第1テサロニケ2章19節から20節）

これが喜びです。これが平安です。これが希望であり、これが約束です。

約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。（ヘブル10章23節）

たしかに、かの日が近づいています。

お父様。あなたの御言葉に感謝します。あなたの約束に感謝します。たくさんの兆候を与えてくださり、ありがとうございます。あなたに感謝します。私たちは、それらを見ている世代、滅びない世代です。他の世代とは違って、私たちは、いちじくの木が芽吹くのを見ることができます。そして、あなたは言われました。それらのものを見たとき、それは戸口まで近づいている、と。ですから、私たちは今日、あなたを待ち望むことを選びます。私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白します。

約束された方は、真実な方であることを覚えます。イスラエルに対して、また私たち全員に対する、あなたの真実に感謝します。お父様。あなたに感謝します。私たちには、あなたがすべてで、あなたの約束は「しかり」であり「アーメン」です。あなたは変わりません。あなたはご自分を否めないで、変わることがありません。

今日、カナダのトロントより、世界中より、あなたの御名を祝福します。

主イエス様、来てください。

御霊も花嫁も言います。「来てください」

イエスの御名によって祈ります。

アーメン。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2019.09.04 (Wed)